

**進めよう!**  
**CSR活動**

**地域のイベントへ積極的に参加**

今月号は、下記事業本部、事業所、グループ会社のCSR活動についてご紹介します。

**1. 原動機「MHIカップ小学生サッカー大会」を開催**

12月13日、東京の「味の素スタジアム」で第2回MHIカップ小学生サッカー大会が開催されました。この大会は、原動機事業本部が推進する「目指せ！笑む・英知・愛」活動（※）の一環として、また、当社のCSR行動指針に基づく具体的な活動として、地域貢献と次世代を担う子供たちの健全な育成を目指して、平成20年度から開催しているものです。

試合当日は、原動機の3つの場所（横浜・高砂・長崎）の予選から勝ち上がってきた各地区代表（横



試合前日の交流会

浜スポーツ&カルチャークラブ、平岡北サッカークラブ、愛宕・村松FC）が優勝を目指し、熱い闘いを繰り広げました。

結果は横浜地区代表が残り1分で劇的なゴールを決め、見事栄冠を勝ち取りました。

（※）原動機の「お客様満足、社員満足、社会貢献、インフォーマルコミュニケーション」活動の総称



試合の様子

（原動機 CSR実務責任者／総務部 総務G 吉井主席談）

**2. 三原地区「企業の森づくり」活動に参加**

三原地区（交通、紙印刷およびグループ会社）では「ひろしまの森林づくりフォーラム」に平成18年度から加盟していて、昨年の11月15日、広島県中央森林公園にある「三景園」内の森林での活動に、交通、紙印刷およびグループ会社より家族も含め35人が参加しました。

今回は20年生のヒノキの間伐が主な作業内容で、初めに専門家の方による指導を受け各自のこぎりを手に作業を開始しました。当日は、あいにくの空模様で冷え込んだ一日になりましたが、今回初参加の小学校1年生の男児も、直径10cm強の木を倒すなど、大活躍でした。間伐前の薄暗かった森が作業後に明るくなったことが分かり、間伐の大切さを教わりました。

参加者からは「貴重な体験ができた」、「楽しい活動だった」など嬉しい感想が多数寄せられました。来年も同様の活動が開催されますので、引き続き三原地区として参加したいと思います。

（交通 CSR実務責任者／経営管理部 内部統制推進G 林G長談）



間伐作業の様子



活動参加者

**3. 各所でオリジナル理科授業を実施**

当社ではCSR行動指針「次世代への架け橋」の取り組みのひとつとして、各事業本部・事業所で、近隣小・中学校への出前理科授業を実施しており、今年度は各所の製品や技術にちなんだ授業も展開しています。下船では11月18日、ポンポン蒸気船（水を入れた銅管を熱し、排出される蒸気で動く船）を作る授業を若手ワーキンググループの企画・運営により開催しました。また機械事業部では同

24日、MHIソリューションテクノロジーズとともに、同社の「魚ロボット」を活用し、魚の動きの仕組みなどを学ぶ授業を開催しました。いずれも参加した小学生からは歓声が聞かれ、充実した時間となりました。これからも当社ならではのCSR活動を推進していきます。



下船「ポンポン蒸気船」授業



機械「魚ロボット」授業